

(仮称)松戸市教育大綱素案に対する意見募集の結果について

(仮称)松戸市教育大綱素案について、市民の皆様からご意見を募集したところ、9人の方からご意見をいただきました。ご意見の提出ありがとうございました。
お寄せいただいたご意見を整理し、市としての考え方をまとめたのでお知らせいたします。

意見公募の概要

- 1 意見募集期間 平成27年9月15日(火)～10月14日(水)
- 2 意見提出者 9人(内訳:市内9人、市外0人)
- 3 意見件数 25件(内訳:全体4件、背景と趣旨0件、位置付け3件、対象期間0件、基本理念4件、4つの柱13件、図1件)
- 4 意見内容 下記のとおり

No.	頁・項目	意見の趣旨	市の考え方	修正の有無
1		<p>人権について述べられていないように見える。特に障がいを持つ人への記載が無い。</p> <p>「多世代」は年齢の違いを超えてと読めるが、「誰もが」という表現が「安心して子どもを育てる」以外に見当たらない。「誰もが」に続く言葉としては、選択した結果としての子育てより、“自分らしく生きる”であるとか“個が尊重される”だと考える。</p> <p>3頁2段目に「すべての市民が、おかれている環境や年齢に関係なく、」とあるが、障がいをもつことは、「おかれている環境」と言えるか。高齢になってからの衰えに関しては、行間に配慮を読み取ることができるが、4頁1の※「健やかな体の知・徳・体のバランスのとれた力」という表現には、健常者より医療を必要とすることの多い障がい者への配慮が感じられない。</p>	<p>子どもの権利の尊重や障害のある人への配慮など、すべての市民の人権を尊重し、誰もが相互に人格と個性を認めあい、支えあう共生の視点で全体を見直しました。</p>	有

2	全体	国際化について、もっと積極的な表現が欲しい。 「グローバル化する社会」「国際的な広い視野で文化を創造できる人」とは記載されているが、市民一人一人が国際社会の一員として、地球人として暮らすまちを松戸が目指しているように書き込んで欲しい。	ご意見を参考に表記を見直しました。	有
3	全体	市民(子どもを含む)からの「声」をアンケート調査などを行い、しっかり聞き取り、実態を踏まえて大綱を作成すること。どこの市町村にも当てはまるものより、松戸の地域に根ざした松戸らしさのあるものにする。	ご意見は今後の参考とします。	無
4	全体	基本理念及び4つの柱は、「生涯学習」としてもっともな目標だと思うが、その拠点となるべき「図書館」という文言がどこにも見当たらないのは何故か。行政内部の横の連携をしっかりとって、施策を進めて欲しい。	具体的な表記はありませんが、社会教育施設の充実という表記に、図書館も含まれています。	無
5	1頁 位置付け	「松戸市総合計画を上位計画とし」とあるが、これでは、教育大綱は総合計画の一部(教育部分)を取り出して抽象表現したものになってしまう。むしろ、教育大綱は、後期基本計画と同一の位置付けとし、実施計画に対し作用するものとすべきではないか。	ご意見を参考に表記を見直しました。	有
6	1頁 位置付け	教育大綱の上位に総合計画をおくべきではなく、並列すべきものとする。		
7	1頁 位置付け	なぜ、国の教育振興基本計画だけを参酌するのか。 参酌すべきは、憲法・教育基本法・子どもの権利条例などの理念や条項こそ生かすべきである。	国の教育振興基本計画の参酌は、大綱策定に関する法令に定められたものです。また、松戸市の教育は憲法・教育基本法等関係法令に則って推進しています。	無

8	3頁 基本理念	「まちづくりのための教育」という考え方と「市民の学習権を保障するための教育行政」という考え方が混在している。 「教育基本法」に基づけば、後者であるべきと考えるため、「すべての市民の学習権を保障する」という宣言にしてはどうか。平和都市宣言のように。 そのなかで、「図書館を整備して、すべての市民が学びやすい環境をつくる」とか「こどもの問題に総合的に取り組む(縦割り行政を克服する)」という趣旨を入れた短期的目標を掲げれば市民も理解しやすく希望が持てる。	すべての市民が生涯を通じて学ぶ喜びを感じられ、学びの成果を生かすことができる支援と環境整備を行っていきます。	無
9	3頁 基本理念	「みんなが育てる みんなが育つ」ために行政は、市民を見守り、市民自身も持っている途方もない力が自然に発揮できるように、市民を信じて、立ちはだかる困難を取り除くべくひたすら環境を整備することが一番である。	すべての市民が生涯を通じて学ぶ喜びを感じられ、学びの成果を生かすことができる支援と環境整備を行っていきます。	無
10	3頁 基本理念	教育行政は、「学習権の保障」をすること。学びを権利としてとらえること。 教育の目的は、「人材の育成(役立つ人を育てる)」ではなく、「人格の完成を目指す」ものである。	これからも教育基本法等関係法令に則り教育行政を推進します。	無
11	3頁 基本理念	教育基本法第1条「教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。」これを基本理念として欲しい。		無

12	3頁 図	<p>どこにかかる言葉かわかりやすく・読みやすくするために、円の白抜き きの文字の配置を直して欲しい。</p> <p>可能性に チャレンジする 学びのまち 松戸</p> <p>可能性に チャレンジする、 学びのまち 松戸</p> <p>市民みんなで 子育てする子ども にやさしいまち 松戸</p> <p>市民みんなで 子育てする、 子どもにやさしいま ち</p> <p>文化とスポーツ を大切にする まち 松戸</p> <p>文化とスポーツを 大切にするまち 松戸</p>	ご意見を参考に表記を見直しました。	有
13	4頁 4つの柱	柱1について 「可能性にチャレンジする学びのまち」という発想は大変良いが、「それぞれの能力や個性に合った」という文はこの発想に反するものではないか。貧富の差や個性・能力の違いを超えて、「等しく学ぶ機会」を与えて欲しい。	ご意見を参考に表記を見直しました。	有
14	4頁 4つの柱	柱1について 「生きる力」をどうとらえるか。企業や特定の社会像が求める力(企業に役立つ力、国家のために従順に生きる力)ではない。	ご意見を参考に表記を見直しました。	有

15	4頁 4つの柱	柱1について 次の点に配慮すべきである。 (1)学力の診断は、学力テストの平均点等にとられることなく こどもの願いや努力にあった指導を (2)部活動は勝利至上主義にならないように (3)休み時間や放課後の使い方は子どもの自主的な活動に 任せるべき	ご意見は今後の参考とします。	無
16	4頁 4つの柱	柱1について ・「自己肯定感を育む」「生き方の多様性を受け入れる」この2つは 教育に必要不可欠だと考える。 ・グローバル化するためには、まず日本語の習得が大事。日本語を 習得できないうちに外国語は無理である。	ご意見は今後の参考とします。	無
17	4頁 4つの柱	柱2について 「市民みんなで子育てする子どもにやさしいまち」という発想は大切。 例えば廃校を利用して、地域住民が集う場所が自宅の近所にあれ ば、日頃から顔見知りになり、災害時は避難所となり、助け合うこと ができる。「地域社会の一員として様々な教育を受け」というような、 少し上から目線の発想よりも、本当の意味の自助・共助になると思う し、そういうまちなら子育て世代も転入して来る。一言、そういう発想 の言葉が欲しい。	ご意見を参考に表記を見直しました。	有
18	4頁 4つの柱	柱2について 「貧困問題」に触れられていない。社会の責任でどんな境遇の子ど もも生存権・学習権が保障されるようにするべきである。	具体的に貧困問題には触れていません が、子どもの権利を尊重することに貧困問 題への取り組みも含まれています。	無
19	4頁 4つの柱	柱2について 学校は、子どもの安全を最優先に考えるべきである。	ご意見を参考に表記を見直しました。	有
20	4頁 4つの柱	柱3について この柱は是非実現して欲しい。しかし、高齢者だけを切り離すのでは なく、違う世代同士の相互の共生が大切。そのためには、「地域の 課題を自らの力で解決していく」というよりは、「共に解決していく」コ ミュニティを作っていくことが良いと思う。	ご意見を参考に表記を見直しました。	有

21	4頁 4つの柱	柱3について 「高齢者が生きがいを持って活躍できるまち 松戸」のうち、「活躍」という表現に異議あり。活躍というどうしても表に出て、積極的に活躍する状態を想起する。いつまでもアクティブに動き続けなければならないというように、高齢者にも周囲にも負担である。「高齢者が生きがいを持って、共に暮らし続けられるまち 松戸」なら、負担感が無く、良いと思う。	ご意見を参考に表記を見直しました。	有
22	4頁 4つの柱	柱4について 「文化とスポーツを大切にする」は良いが、「松戸にゆかりのある選手を応援することで、松戸に誇りと愛着を持つ人がさらに増える」というのは変である。 行政の仕事は、市民に無理に選手を応援させることではなく、スポーツができる環境を整備することだと思う。環境整備の努力を重ねれば、自然と大きな大会に出るスポーツ選手が出てきて、市民は自然と選手を応援するはずである。	ご意見を参考に表記を見直しました。	有
23	4頁 4つの柱	柱4について スポーツについて、選手にのみスポットがあたるものであってはならない。どの人にもスポーツ文化に触れられる機会を保障していくこと。	ご意見を参考に表記を見直しました。	有
24	4頁 4つの柱	柱4について ・文化とスポーツ振興がなぜ同列なのか違和感がある。 ・文化の多様性には賛成だが、「可能性を最大限に発揮し」の意味が理解できない。 ・松戸に縁のある選手を応援することがスポーツ振興なら、それがなぜ松戸の魅力を高めることになるのか理解できない。 ・「文化の多様性を重んじ、異文化交流を図る中で相互理解が生まれる」方向性が良いと思う。	ご意見を参考に表記を見直しました。	有

25	4頁 4つの柱	柱を一つ追加してほしい。 ■子どもから大人まで、世代に合った法令が理解され遵守されるよう、家庭教育、学校教育、社会教育を充実します。 —法令を理解し遵守する市民が集まる安全・安心なまち 松戸— 放置自転車、自転車の危険運転、路上喫煙等々法令を遵守しない市民が多すぎる。特に現状の社会教育は教育委員会のみで計画であるが、行政部門も巻き込んだ社会教育都市、その充実が必要。	ご意見は今後の参考とします。	無
----	------------	---	----------------	---